

令和3年度 外国語(英語) シラバス

	校長		教頭	
教科(科目)	単位数	学年		
コミュニケーション英語 I	3	1		
使用教科書	Revised COMET English Communication I (数研出版)			
副教材	同教科書準拠 ベーシックノート (数研出版)			

1. 学習の到達目標

基本的な読む、書く、聞く、話す能力の習得と基本的なコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	アルファベットの練習・Classroom English Japanglish について L1 Why Do We Study English ? L2 <i>Washoku</i> : Our traditional Food 【中間考査】 L3 What should I Do ? L4 My School, Your School 【期末考査】	* 中学の復習をさせる。 L1 英語を学習する意義とはなにか考えさせる。 文法: Be 動詞・一般動詞の現在形、過去形の習得 L2 世界で注目される「和食」の特徴について考えさせる。 文法: 助動詞の習得 L3 悩み事を相談するときの英語表現について考えさせる。 文法: 進行形の習得 L4 海外の高校生と学校生活の違いについて考えさせる。 文法: 不定詞の習得
	L5 Peace, the Polar Bear L6 Flying Wheelchairs 【中間考査】 L7 Moving As One L8 Convenience Stores: the Keys to Their Success 【期末考査】	L5 人工保育に成功したシロクマを育てた飼育員の苦勞について考えさせる。 文法: 動名詞の習得 L6 空飛ぶ車イスのボランティア活動について考えさせる。 文法: 現在完了形の習得 L7 鳥や魚の群れの動きのルールとその産業界での応用例を考えさせる。 文法: 受け身の習得 L8 コンビニエンスストアの様々な工夫を考えさせる。 文法: 現在分詞・過去分詞の習得
	L9 Malala Yousafzai: Education Can Change the World L10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles 【学年末考査】	L9 17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが訴え続けるメッセージとは何かを考えさせる。 文法: 比較表現の習得 L10 カップラーメンの発見や苦勞したこと、ひらめきについて考えさせる。 文法: 関係代名詞・関係副詞の習得

3. 評価方法

①定期考査: 4割 ②提出物、朝学用単語ノート、宿題、授業態度、出席状況、その他: 6割
①と②を総合的に評価する。なお、出席すべき時数を満たしていない場合の評価は0とする。

4. 評価の観点

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する	英語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化を理解し、知識を身につける

令和3年度 外国語(英語) シラバス

	校長		教頭	
教科(科目)	単位数	学年		
コミュニケーション英語Ⅱ	2	2		
使用教科書	Revised COMET English Communication Ⅱ (数研出版)			
副教材	同教科書準拠 ベーシックノート (数研出版)			

1. 学習の到達目標

基本的な読む、書く、聞く、話す能力の習得と基本的なコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	L1 Staying in Space 【中間考査】	L1 宇宙空間での食事や人体の変化を通じて、未知の世界や分野について興味を持ち、知ろうとする探求心を養う。 文法：S+V+that 節 / S+V+O+that 節
	L2 Doraemon in the U.S.	L2 アニメという身近な題材を通じて、国によっては文化や価値観に違いがあるということを理解し、国際的な視野を養う。 文法：人に要求する表現 want, ask, tell+ (人) +to+動詞の原形
	L3 Farm in the Sky 【期末考査】	L3 垂直農場ではどのような仕組みで野菜を育てているか、どのような利点があるのかを知り、世界の様々な国の農業の問題点やそれに対する取り組みについて考え。 文法：疑問詞+to-不定詞 how, what, when, where+to+動詞の原形
2 学期	L4 Goal Setting	L4 効果的な目標設定の仕方を選び、目標を定めてその達成に向けて努力することの大切さを認識させる。 文法：分詞構文
	L5 The High School Student Restaurant 【中間考査】	L5 高校生レストランで働く生徒の日記を通して働くことについて考える。 文法：形式主語 It
	L6 Why is it that Shape?	L6 さまざまなモノの形の「なぜ？」を探る 文法：関係代名詞 What
	L7 Fuji, a Dolphin With a New Fin 【期末考査】	L7 尾びれを失い泳げなくなったイルカ、フジが人口尾びれで泳ぎを取り戻す感動の実話を学ぶ。 文法：過去完了形
3 学期	L8 Do We Need That? 【学年末考査】	L8 日本のサービスは過剰か？外国の人から見た考察について考える。 文法：無生物主語

3. 評価方法

①定期考査：4割 ②提出物、宿題、授業態度、出席状況、その他：6割

①と②を総合的に判断して評価とする。ただし、出席すべき時数を満たしていない場合の評価は0とする。

4. 評価の観点

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する	英語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化を理解し、知識を身につける

令和3年度 外国語(英語) シラバス

	校長		教頭	
教科(科目)	単位数	学年		
コミュニケーション英語Ⅱ	2	3		
使用教科書	COMET English Communication Ⅱ (数研出版)			
副教材	Watching 2018-2019 Joyful (浜島書店)			

1. 学習の到達目標

基本的な読む、書く、聞く、話す能力の習得と基本的なコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	L9 Sleep 文法のまとめ3 【中間考査】 L10 Win for Our Nation L11 From Small Factories to the World 文法のまとめ4 Reading 2 I Will Be Your Eyes 【期末考査】	L9 人や動物の睡眠の豆知識を紹介/使役動詞 L10 南アフリカのマンデラ大統領とラグビー代表チームの挑戦/知覚動詞 L11 世界の誇る日本の町工場の開発力/ 定法過去・仮定法過去完了 盲目の馬と女子高生の心の交流
2 学 期	特集: What's the Original Title of the Movie ? 1. Japan's National Rugby Team 2. Linear Chuo Shinkansen 3. Learn from the Lifestyle of Edo 4. A Little Animal Called Cheburashka 【中間考査】 特集: Festivals around the World 5. 18-year-olds Go to Vote 6. Hanyu Yuzuru: His Effort 7. Self-driving Cars 8. "Aloha" from Hawaii 特集: Is Your English Correct ? 【期末考査】	特集: 映画の原題について 1 歴史的勝利! ラグビー日本代表の強さの秘密 2 新たな交通機関 リニア中央新幹線がもたらすもの 3 モノを大切に作る精神を江戸のライフスタイルから学ぼう 4 生誕50年! ロシア生まれの人気者・チェブラーシカ 特集: 世界のめずらしいお祭りを英語で読んでみよう 5 政治がより身近に! 18歳選挙権 6 羽生結弦選手 美しい演技の裏にある努力 7 未来の技術 自動運転自動車の進歩 8 アロハシャツの歴史から日本とハワイのつながりを見る 特集: まちがえやすいカタカナ英語
3 学 期	9. What Do You Want to Be? 10. Welcome to Morocco 11. No Japanese River Otters in Japan 12. Kyogen Promoter: Shigeyama Kunihiko 特集: News Watcher 【学年末考査】	9 将来何になりたい? 動物と関わる仕事を紹介 10 古代と近代が融合する国 モロッコ 11 姿を消したニホンカワウソ その原因とは 12 狂言を通して日本の伝統文化を世界に広める茂山さん 特集: ニュースによくでる英単語を学ぶ

3. 評価方法

①定期考査: 4割 ②提出物、宿題、授業態度、出席状況、その他: 6割

①と②を総合的に判断し評価とする。但し、出席すべき時数を満たしていない場合の評価は0とする。

4. 評価の観点

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する	英語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化を理解し、知識を身につける

令和3年度 外国語（英語） シラバス

		校長		教頭	
教科（科目）	単位数	学年			
英語会話	2	2			
使用教科書	Sailing English Conversation（啓林館）				

1. 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。
- ② 日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。
- ③ 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	Warm up 1～3 L1 学校生活・予定 L2 過去の出来事 L3 機内・依頼・禁止 L4 電話・誘う	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や他己紹介を聞いて、自分や周囲の人物を紹介する方法を知る。 ・学校生活について必要な情報を得たり、会話したりする方法を学ぶ。 ・過去の出来事に対して質問したり答えたりする方法を学ぶ。 ・機内を想定して、自分の要求を依頼する方法を学ぶ。 ・電話での応答表現を学び、必要な情報を得る表現を学ぶ。
2 学期	L5 道案内・感謝 L6 ショッピング L7 パーティー L8 病院・体調を述べる L9 職業・未来	<ul style="list-style-type: none"> ・人に道を聞く時、聞かれた時の応答の仕方を学ぶ。 ・買い物をするときの応答の仕方や、金額など数字を聞き取る表現を学ぶ。 ・相手をほめる表現とそれを受ける表現、人を描写する表現を学ぶ。 ・体の部位や症状の表現を使って、体調やけがの症状を述べる方法を学ぶ。 ・未来や希望について述べる方法を学ぶ。
3 学期	L10 家事・意見 Unit 2 助言・案内・ 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> ・家事について述べる表現を学ぶ。 ・意見を述べる時の表現や、賛成または反対する表現を活用する。 ・会話を聞いて概要をとらえる方法を学ぶ。

3. 単元の学習における評価規準

①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。 ○さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを主体的に続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関心のあることなどについて正しく英語で話すことができる。 ○場面や目的に応じて適切に話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の意図や話の内容を正しく聞き取ることができる。 ○相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて適切に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○英語の学習で与えられた文化的背景を理解している。

4. 各学期及び学年の評価方法

- ① 定期考査：4割 ② 授業でのペアワーク・ワークシート・音読テスト・板書内容の教科書・ノートへの書き込み、平素の学習態度、出席状況、その他：6割
- ①と②を総合的に判断して評価する。但し、出席すべき時数を満たしていない場合の評価は0とする。

3学年選択 英語表現Ⅰ シラバス

校長	教頭

1. 学習の到達目標

- ① 中学レベルの英語を身に付けてきちんと使いこなせるようになる。
- ② 通じる英語の発音を身に付け、実際に発音できるようになる。
- ③ 英語の発音をつづりの関係を知り、初見の英単語でも読めるようになる。
- ④ 英語の語順を知り、使いこなせるようになる。

2. 評価規準

- ① 積極的に発音の練習を行う姿勢がある。
- ② 基本的な英語の語順を理解する。

3. 各学期及び学年の評価方法

- ①定期考査：4割 ②提出物、宿題、授業態度、出席状況、その他：6割

①と②を総合的に判断し評価とする。但し、出席すべき時数を満たしていない場合の評価は0とする。

目標達成の程度	100点法	5段階法
特に高い程度に達成している	80～100	5
高い程度に達成している	65～79	4
おおむね達成している	50～64	3
達成が不十分である	35～49	2
達成が著しく不十分である	0～34	1